

研究の概要

20 22 年 6 月 16 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	インスリン抵抗性改善を目的としたイノシトールの有効性の検討について
代表研究者 (所属・氏名)：	培養環境部門：西原 卓志
研究の目的：	多嚢胞性卵巣症候群はインスリン抵抗性の合併率が高く、メトホルミンの投与が推奨されているが、下痢、嘔気などの消化器症状の副作用が発生する症例が散見される。サプリメントのイノシトールはインスリン抵抗性を改善する効果があり、かつ副作用が少ないことが多くの論文で示されているため、イノシトールのインスリン抵抗性改善効果、副作用の発生率についての検討を行う。
調査データ該当期間：	20 21 年 8 月 1 日 ~ 20 22 年 2 月 1 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	HOMA-IR1.6以上でインスリン抵抗性高値と判断される症例に対し、メトホルミン1000mg/dayまたはイノシトール4g/dayを処方し、1か月後にHOMA-IR再検、副作用の有無、服用前後のHOMA-IR値を比較する。また再検を行った症例に対し、BMIを用いて、正常群(25未満)および肥満群(25以上)に分け、両剤の服用前後におけるHOMA-IRの低下率について後方視的に比較検討を行う。
個人情報の取り扱い：	研究に用いる個人情報の保護、プライバシーの尊重に努力し最大限の注意を払います。匿名化を行い、符号のみで取扱いますので、研究報告により個人が特定されることはありません。
本研究の資金源 (利益相反)：	なし
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	IVFなんばクリニック 培養環境部門 西原 卓志 〒550-0015 大阪市西区南堀江1-17-28 06-6534-8824
備考	